

なんば ひろば 改造計画



なんば駅周辺における空間再編推進事業

なんば広場マネジメント法人設立準備委員会（南海電気鉄道 広場担当）

2024.5

グレーターなんばエリア

北は道頓堀～南は新今宮まで、およそ3km²の広域難波圏



なんばひろば改造計画



タクシープールであった時の様子



2021年度社会実験時の様子

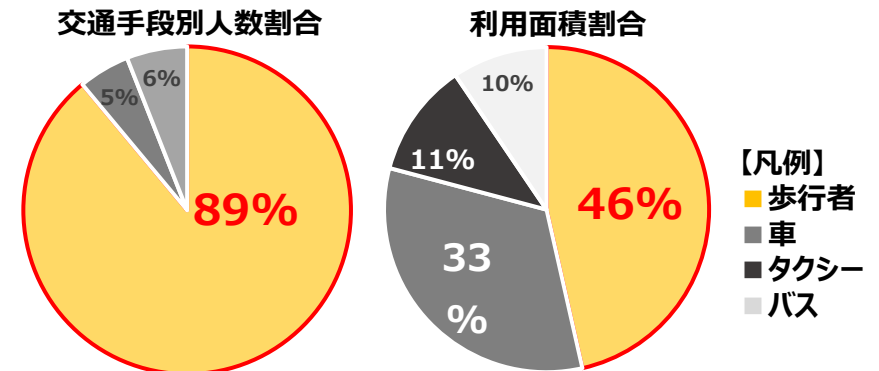
車両空間で支配されているこの駅前広場を**“人中心”**の空間に改造する。

“再開発でない”、既存の成熟した都市の骨格を変える、日本でも先進的なプロジェクト。

- 位置：大阪府大阪市中央区難波5丁目1
- 面積：約6000m²（利活用可能な中心エリアは約2000m²）
- 広場の法的位置づけ：**道路法による道路**

課題：現状のなんば広場・なんさん通り

◆車両交通のために支配された広場



**歩行者交通が大半である一方、
車交通スペースの占める割合が半分以上を占め、
空間的なアンバランスが生じている。**

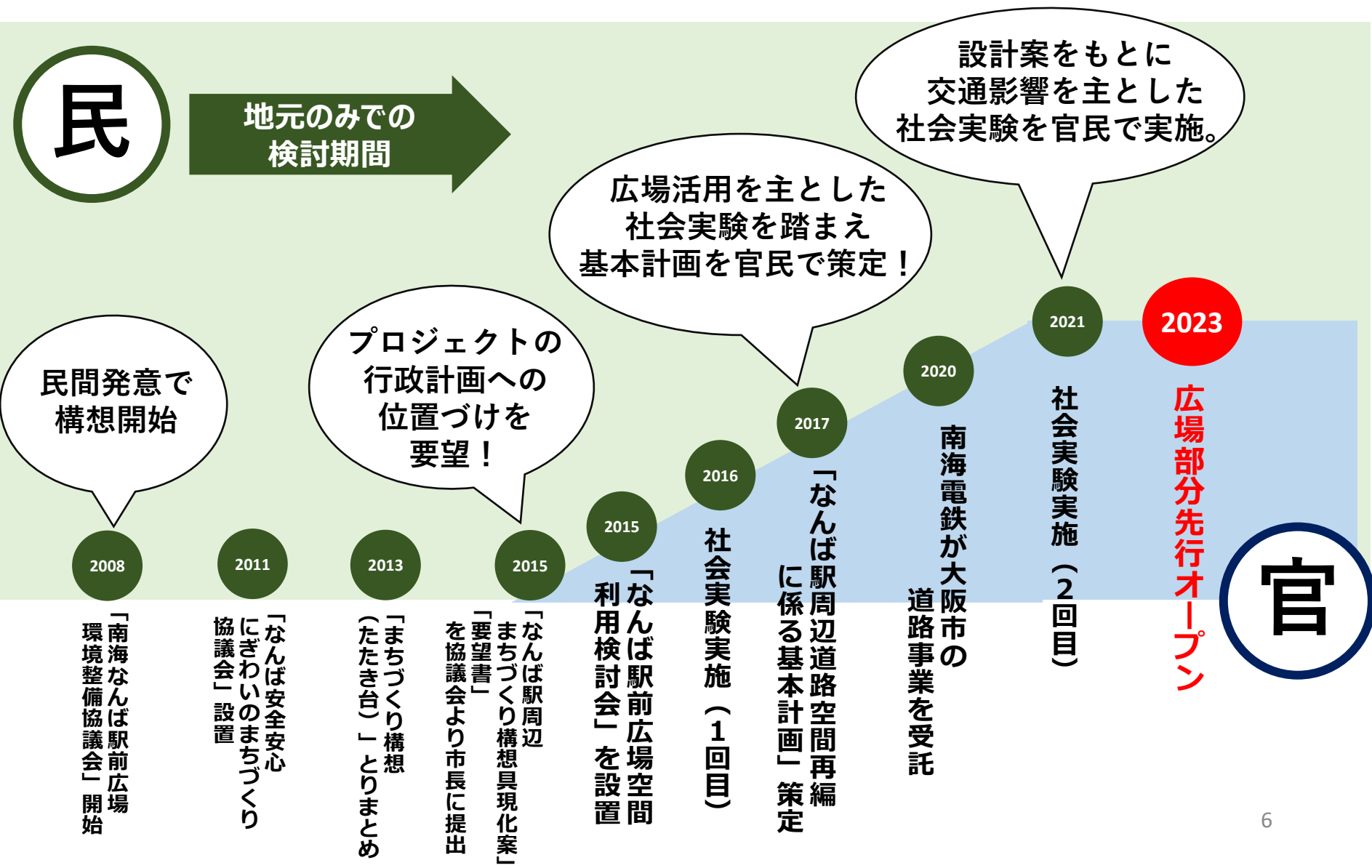
課題：現状のなんば広場・なんさん通り

◆ 歩行者にとって良好とは言えない環境

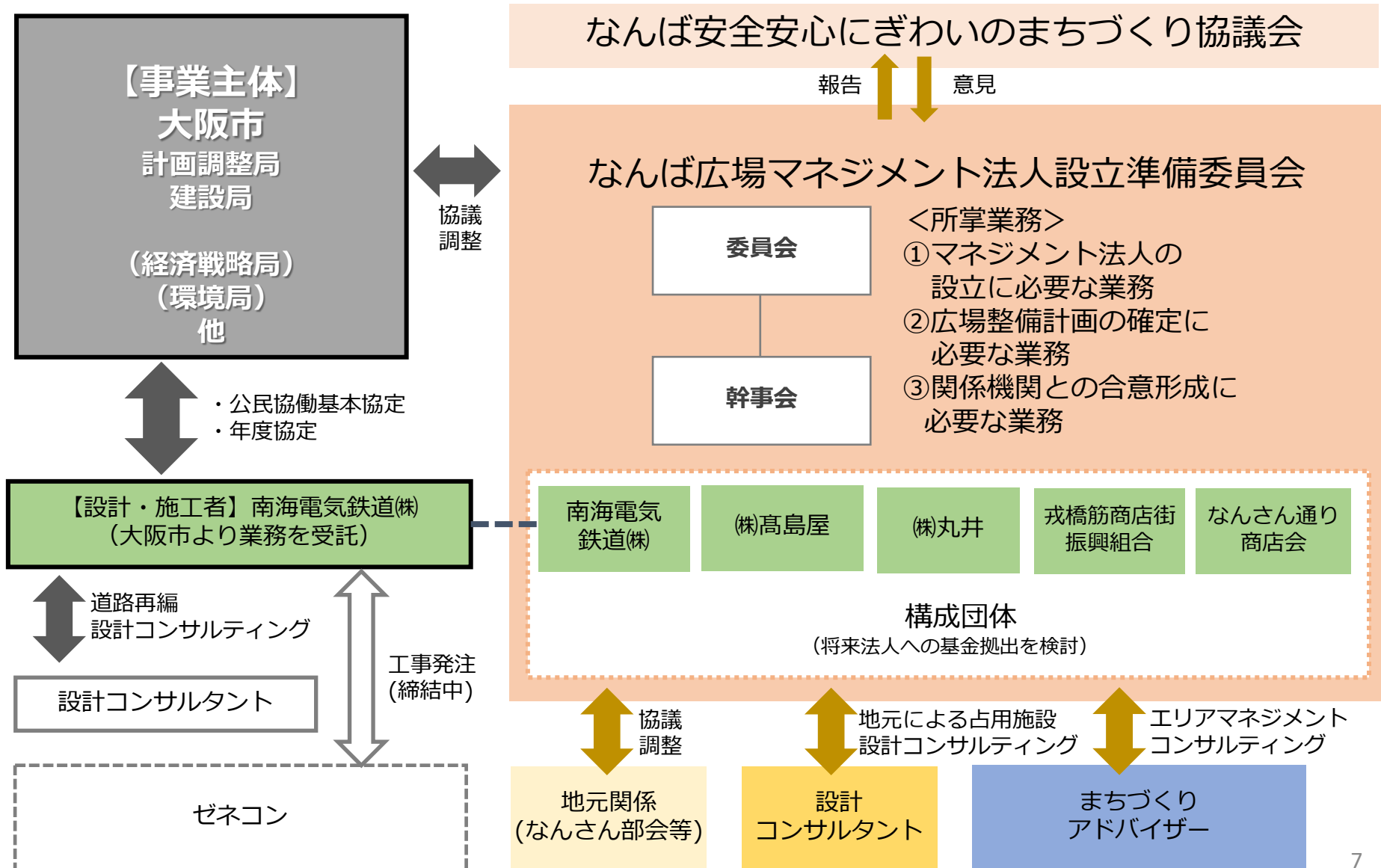


- ① 滞留はバス待合者か喫煙所周辺に限られ、
喫煙所には仕切りがなく、
周囲にはみだして吸う光景
がみられる。ポイ捨ても多い。
- ② なんさん通りの放置自転車対策に
多大な労力をかけている。
- ③ 観光客の増加に伴い、
なんさん通りの歩道は過密状態となっていた。

民間発意の官民連携事業



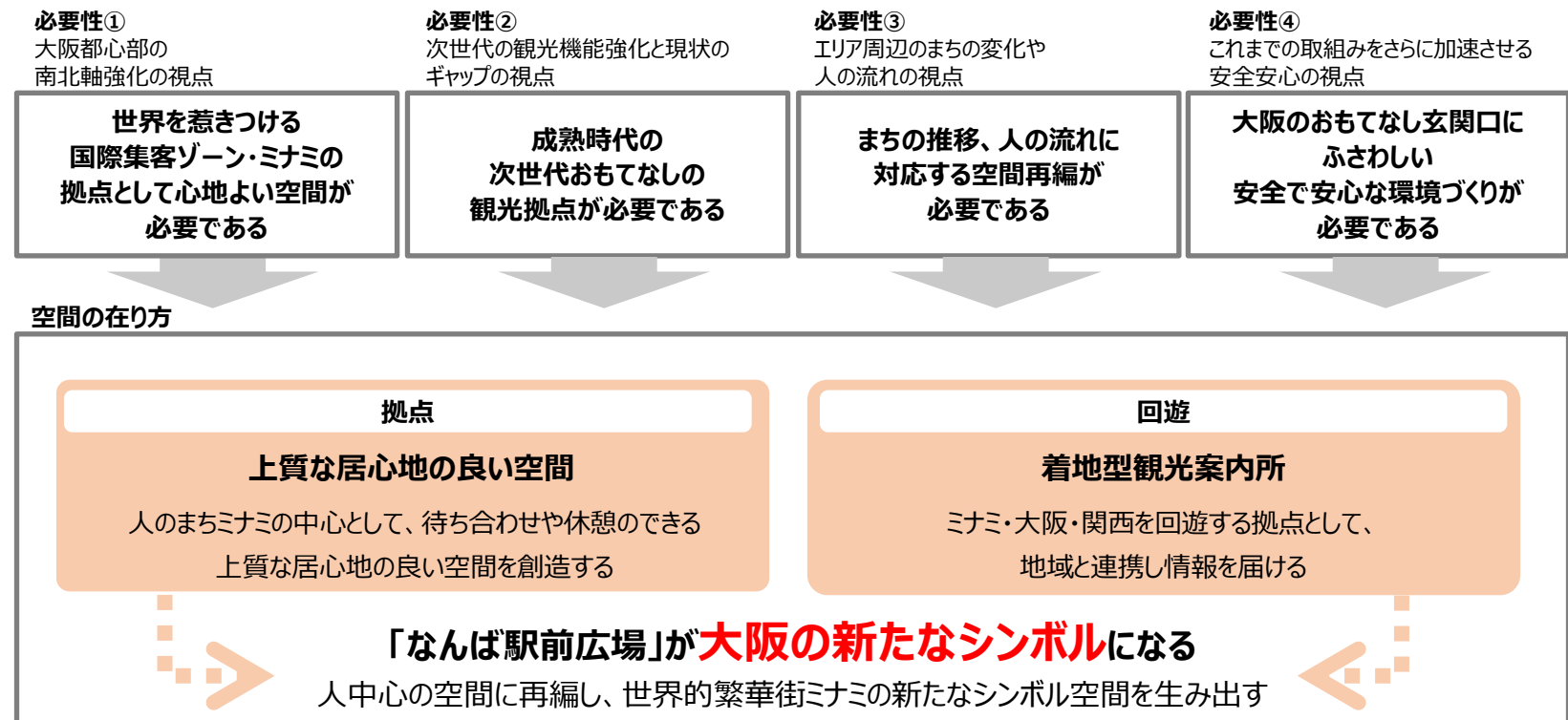
民間が公共空間のデザインから運営管理まで一貫して行政に提案！



大阪のおもてなし玄関口 ～世界をひきつける観光拠点づくり～

- ① **人中心の空間に再編**し、世界的繁華街ミナミの**新たなシンボル空間**を生み出す
- ② ミナミ・大阪・関西を**回遊する拠点**として、地域と連携し**情報を届ける**
- ③ 人のまちミナミの中心として、**居心地よく安心感のある空間**を創造する

●空間のあり方



大阪・関西万博に向けて

2021.11

社会実験

2022.9

本体工事着工

2023.11

広場部分先行完成

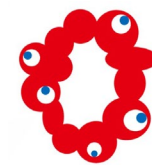
2025.3

なんさん通り完成

広場完成後当面の間は、
長期の社会実験として
暫定的な運営・活用を実施

2025.4

大阪・関西万博との連携
広場を万博サテライト会場とし
"なんばひろば"を世界へと発信！



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

2031

なにわ筋線開業

2037

御堂筋フルモール化

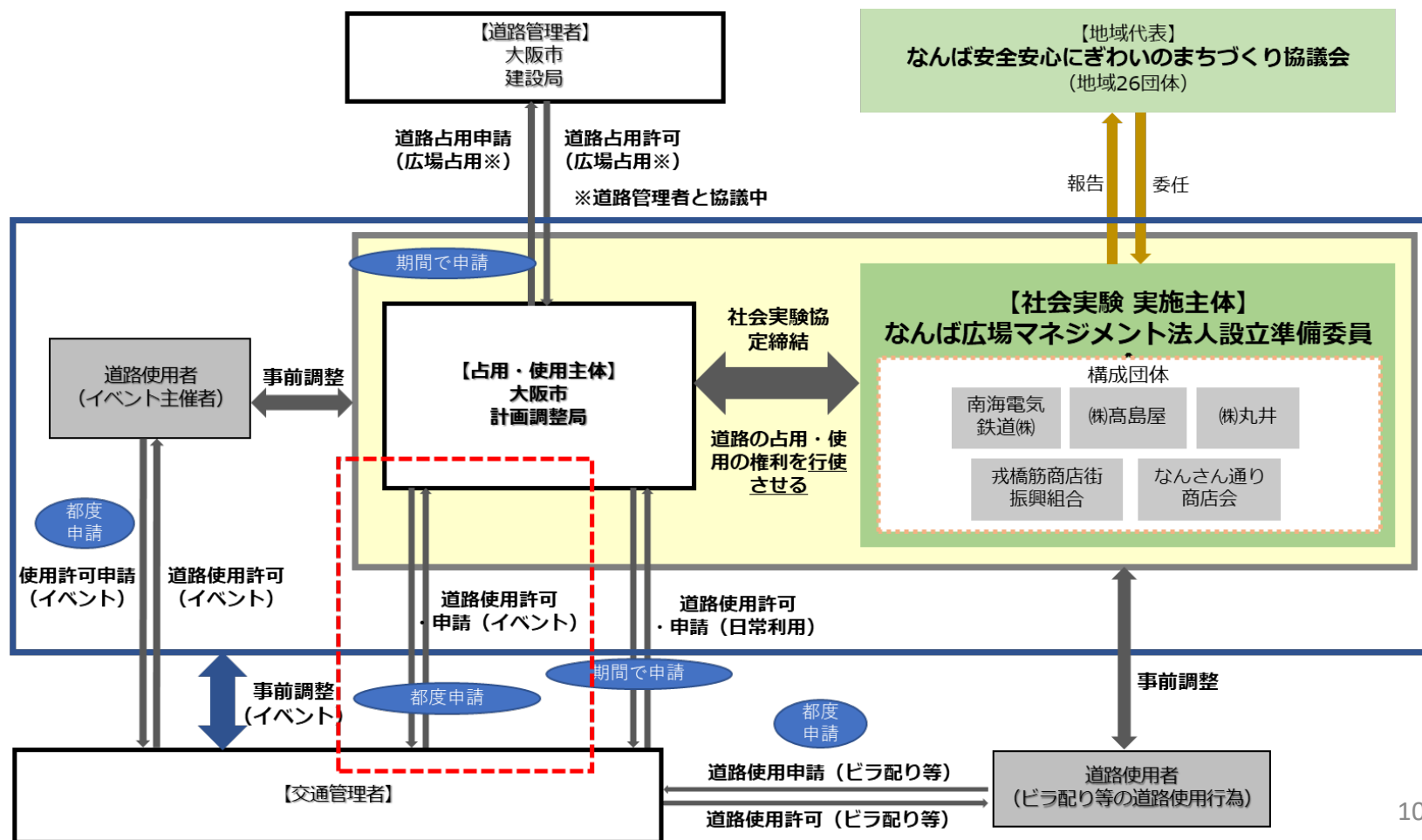
万博開催以降に運営
主体が決定し、本格的な運営・利活用を
実施

■ 社会実験時の利活用体制

- ・なんば広場マネジメント法人設立準備委員会が窓口となり、イベント実施者との調整を行う。
- ・社会実験期間中は、計画調整局・なんば広場マネジメント法人設立準備委員会・イベント実施者の3者で警察協議を行う。
- ・警察協議での指摘事項を利活用ルールに反映し、社会実験終了後は、イベント実施者のみで警察協議を行うことのできる体制を目指す。

【道路の使用に必要な手続き関係図】

※イベントの受け入れ窓口は準備委員会が行う

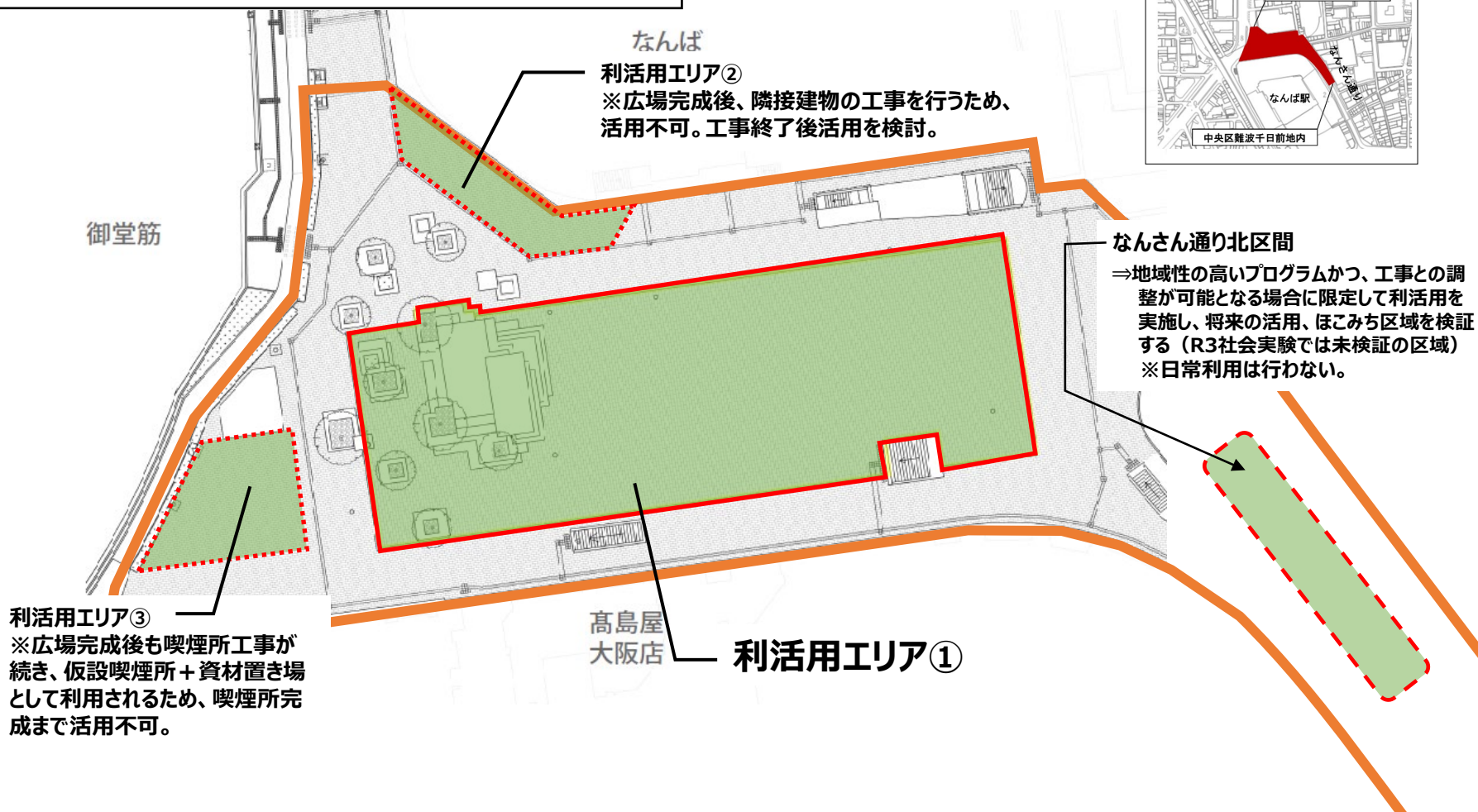


- ・広場オープン直後は利活用エリア①のみで活用を行う。利活用エリア②③については関連工事が終了次第活用予定。

社会実験協定範囲（協定書で明示）
この範囲で、維持管理（清掃、安全管理等）、利活用の社会実験を実施

道路占用許可範囲

※協定範囲は、ほこみち道路指定区間と同一とし、社会実験において、ほこみち区域の検証を実施



- ・社会実験期間中に使用する仮称（愛称）を **なんば広場** に決定。
- ・正式名称については、事業全体完成（2025年3月末）後の本格運用開始にあわせ決定予定。



©南海電鉄

イベント時のようす

11/25・26 道頓堀リバーフェスティバル



12/8 なんば広場ランチタイムコンサート



12/31・1/1 なんばカウントダウンパーティー



1/10 宝恵駕行列



日常時のようす

